

# 私と写真 好岡 記志夫さん(緑乙)



愛媛  
CATV  
動画



▲相棒と共に笑顔を見せる好岡さん



▲第72回秋季県展 準会員賞 『韻』  
須ノ川パークイルミネーションに粉雪が舞う幻想的な瞬間を収めた渾身の1枚  
◀愛南町夏まつりフォトコンテスト 最優秀賞 『映える』  
夜空と海面に映し出される2つの花火

## “人に感動を与える一枚を撮りたい”

緑地区の山奥で河内晩柑やハウストマトを栽培している好岡記志夫さんは写真家としての一面を持ちます。

好岡さんが初めてカメラを持ったのは園芸専修学校に通っていた二十歳の時。学校で栽培していた花や野菜の成長を記録に残したいと思い、当時の初任給を上回る金額のカメラを購入しました。帰郷してからも趣味の一つとして「だるま夕日」や季節の移り変わっていく風景などの撮影を続け腕を磨きました。

一時期はカメラを置いていましたが60歳の頃に再び本格的にカメラを持つようになり、農作業の合間を見ては写真を撮りに出かける好岡さんは、今から42年前に出会った内泊出身の写真家、原田政章先生との出会いが今でも深く心に残っていると話します。原田先生は好岡さんに対し、「写真は読んで字のごとし、真を写すもの。君が見たものを心に置きカメラで撮って表現せよ」と言葉を授けました。その言葉を受けて身震いがしたというこのエピソードが写真人生の原点です。“写真は心で写すもの。時が過ぎて語るもの。作品と記録を撮れ”原田先生からの教えを今でも心に刻んで撮影しています。

県展などさまざまなコンクールに出品している好岡さんは、愛南町夏まつりの写真コンテストで最優秀賞、第72回秋季県展で準会員賞を受賞しました。2つの受賞について、「今日ダメだったらまた来ようという考えでは良い写真は撮れない。すべての条件が揃ったときに最高の写真が撮れるわけで、入選した2つの写真はどちらも自然が最高の条件・演出をプレゼントしてくれました」と喜びを見せながら話しました。

これからの目標について好岡さんは、「AIなどデジタル技術の発達でさまざまな写真が出てくると思いますが、写真は心で写すもの。撮れるか撮れんか分かりませんが、人に感動を与える一枚を追い続けたい」と力強く意気込みを述べました。

### 編集後記

今年も秋祭り特集の掲載写真では、愛南フォトクラブの皆さまに全面的にご協力いただきました。各地区に受け継がれてきた特色ある祭りの様子を克明かつ鮮烈に捉えた作品を通して、広報あいなん読者の皆さまも祭りの熱気や迫力をお楽しみください。

ご協力いただきましたフォトクラブの皆さまにこの場をお借りしまして改めて厚くお礼申し上げます。 T

ねんりんピック開催期間中、選手とお話する機会たくさんがありました。松山までなら来たことあったという方が多く、「この大会のおかげで愛南町に来てよかったよ」と感想を聞かせてくれた方も何人かいて嬉しい気持ちになりました。

さまざまな方言が飛び交う会場に、ねんりん重ねた愛顔が咲き誇り、元氣な選手を見ているだけでたくさんのパワーをもらえた3日間でした。 M

**愛南町の世帯数と人口**  
令和5年11月1日現在

世帯数	9,947世帯 (+3世帯)
人口	19,097人 (-29人)
男	9,042人 (-13人)
女	10,055人 (-16人)
愛南町の高齢化率	46.7%
※ ( ) 内は前月比	
●10年前同月の人口	24,094人

### 編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

<https://www.town.ainan.ehime.jp/>